

会期延長に怒り、3万人が国会包囲 戦争法案「反対」急増、公明支持者も逆転

国会会期末の24日夜、安倍政権が過去最高の会期延長を決め、戦争法案を強行しようとしていることに抗議し、前回(6月14日)の25,000人を超える30,000人の市民が駆けつけ国会を包囲しました。

こうした国民的なたたかいが政府を追い詰め、最近の共同通信の世論調査では、戦争法案に「反対」58.7%「賛成」27.8%。また法案の「説明不十分」が84.0%と圧倒的多くの国民は戦争法を認めていません。

そして、公明党支持層でも、「賛成」36.6%(前回53.9%)、「反対」47.2%(前回35.1%)と賛否が逆転しています。

埼玉県では「憲法を暮らしに生かす」政策を全面に掲げた柴田泰彦氏(埼玉憲法会議代表委員)が、安倍首相と同じような歴史、憲法認識をもつ上田知事の4選を阻むため、立候補することを表明しました。

電光板オジサン(79才)に大きな注目



24日の国会包囲行動に、埼玉憲法会議の会員で川口九条の会で活躍している、「電光板オジサン」こと、嶋田さん(79才)が、自作の「戦争立法ダメ!!」の電光板を持って国会周辺をデモ。とても目立つ電光文字にみな大歓迎。アチコチで「写真を撮」と声がかかり、「スゴイ」と歓声と拍手が寄せられました。

嶋田さんは、「じっとしてられない」と、去年は、週4日間午後7時~9時まで川口駅で看板を持ってスタンディングに取り組み、「埼玉新聞」でも大きく取り上げられました。7月2日の「憲法闘争活動交流会」でお披露目します。

誰でも出来る座り込み抗議行動

総がかり実行委員会が呼びかけている6月15日からの連日国会前「座り込み行動」には様々な団体・個人が参加しています。23日には2回目の参加となる「溪流9条の会」のメンバーが釣竿片手に8人参加。釣り好きの通行人が次ぎつぎ話しかけてきて、新たな仲間も何人か増えました。前は7人、今回8人次回は10人以上を目指し、「座っているだけだから、楽でいいや」といながら持参のおにぎりで腹ごしらえ。



「憲法闘争」&「県知事選」・緊急活動交流会

埼玉県知事選挙は7月23日告示~8月9日投票。まさに国会で戦争法案審議の山場を実施されます。埼玉憲法会議の代表委員・柴田泰彦氏と私たちのたたかいは、全国の戦争法反対勢力に大きな励ましとなります。

大勢の参加を! ●7月2日(木)18:30~ 埼玉教育会館 どなたでも参加できます
活動交流—集会・パレード・宣伝・署名・議員要請など
※国会情勢報告 梅村さえこ衆議院議員